

## 設 立 趣 旨 書

現代社会では、都市化や生活様式の急激な変化により、人々が自然・身体・地域社会とのつながりを失い、精神的・身体的な不調や孤立感を抱えるケースが増えている。また、加工食品の普及や生活環境の変化に伴い、社会毒性・生活習慣病・医原病など健康リスクに関する正しい知識を得る機会も十分とはいえない。特に子どもや若い世代は自然体験や食育の機会が減少し、地域コミュニティとの関わりが希薄化している。

私たちは、人々が自然と調和した暮らしを取り戻し、心身の健康を守りながら地域社会の中で支え合える環境を整えることが望ましいと考える。また、日本の伝統的な生活文化や養生の知恵を学び直し、世代を超えて継承する仕組みを形成することで、持続可能で豊かな地域コミュニティが育まれる未来を目指す。

その実現のために、自然農を活用した食育活動、生活習慣改善に関する健康教育、子どもを対象とした自然体験プログラム、障がいのある人の就労支援、地域交流事業など多面的な取り組みを行う。発起人はこれまで、無肥料・無農薬栽培を行う農家と協働し、農作業支援や食育ワークショップ、子どもと地域住民を対象とした農体験活動を実施してきた。また、健康教育や身体調整に関する発信活動を通じて、家庭で実践できる生活改善方法を伝えてきた。これらの活動を通じ、多世代・多背景の人々がともに学び合う場の必要性を強く認識するに至った。

今後は、自然共生・健康教育・食育・生活文化継承・就労支援を柱とする事業を体系的に整備し、地域住民、子ども、保護者、高齢者、障がい者など不特定かつ多数の人々に開かれた活動として展開する。これにより、心身の健康増進、子どもの健全育成、地域コミュニティの活性化、環境保全意識の向上など、社会全体の利益の増進に寄与することを目指す。

### 私たちが特定非営利活動法人を設立する理由

- 1. 公益性を基盤として活動するため**  
活動の目的と受益者が「不特定多数」であり、地域社会や国際社会に公益をもたらすため、営利を目的としないNPO法人が最も適した法人格である。
- 2. 寄付・助成金等の資金調達を透明性高く行うため**  
公益性の高い活動を継続するには、寄付金や助成金を適正に管理し、収支を公開する仕組みが必要である。  
NPO法人は情報公開義務があり、資金の透明性が担保され、外部からの支援を受けやすくなる。
- 3. 長期的・継続的に活動するための組織基盤が必要**  
農的活動、健康教育、就労支援など、多岐にわたる事業を安定的に運営するためには、任意団体よりも明確なガバナンス体制を持つNPO法人が適切である。

以上の理由から、ASKAH NET PROJECT の理念と事業内容は、NPO法人としての設立が最も適切であると判断した。

2026年 1月 10日

法人の名称 NPO法人 ASKAH NET PROJECT

設立代表者 福田 桂